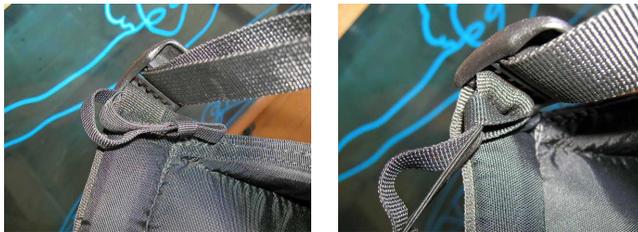


ウッディーバレーハーネス リラックスバー取り付け方法

1. 座板前部のプラスチックバックルの、矢印部分のループベルト内に、リラックスバーのガイド用ベルトを通し



2. ベルトのループ部分に反対側のベルトを通して引っ張り固定します。



3. もう一方のガイド用ベルトのループ部に、リラックスバーのベルトを通します。



4. なお、カラビナはハーネス外側（後部）に着脱部がくるようつけて下さい。



注: エクザクトハーネスなど、フロントレスキュータイプのハーネスの場合は、レスキューのプライダルが必ずベルトの外側になるよう装着して下さい。

リラックスバーのセッティングおよび使用法

リラックスバーベルトをカラビナ位置から取る事によって、バーを踏み込んだ際に直接ライザーを固定し、安定させる事が可能となり、非常に高いハーネス安定を得る事が出来ます。

リラックスバーの調整は、足をほぼまっすぐに伸ばした状態で、(突っ張りすぎる状態だと長時間のフライトで足が疲れますのでご注意下さい。ひざの部分が少しだけ曲がるくらいがお勧めです。)腰がしっかりとハーネスに密着し、リラックスバーを踏み込んだ際にしっかりとテンションが掛かる様長さの調整をしてください。踏みこんだ際のリラックスバーベルトが、カラビナからほぼ一直線にバー部分まで行く形にセッティングするのがベストです。ベルトがガイド部でV字型になり、足が上がる場合は、踏み方が悪いかハーネスの基本的なセッティングミスです。

なお、踏み込んだ際にパイロットの重心がハーネス内で前後にずれる場合や、足を伸ばしてもテンションが掛からない場合は、リラックスバーの効果は期待できません。

リラックスバーを踏み込むと、カラビナに連動しているベルトが引かれ、肩ベルトも張るためにハーネスがより安定し、更に揺れが少なくなります。グライド時や、センタリング中に旋回を安定させたい時などに使用してください。

また、旋回中に内側を強く踏む事によって、しっかりと体重移動している状態をキープできます。なお、常にベルトが張っている状態で使用すると、体重が入りづらくなる場合がありますのでご注意ください。

くれぐれもリラックスバーを使用した際に極端に体が寝たり、足が上がってしまったりするようなハーネスセッティングは避けてください。安定性が悪くなり、ヨーイングが出やすくなります。